

民主主義の担い手に必要な資質・能力を育む社会科の探求  
～経済単元において「効率と公正」の視点で考える学習活動を通して～

熊本県西原村立西原中学校 教諭 伊藤 文徳

### 1 はじめに

2020年1月、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染が報告されて以降、急速に感染が拡大していった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、それまで安価に購入できたマスクが高騰し、突然入手困難となった。コロナ禍にあって、価格が上がったもの、価格が下がったもの、価格が変化していないものなどがあり、価格の動きは生徒たちにとっても大きな関心事になった。時事性のある社会的事象として、価格の決まり方に着目した。

### 2 研究主題との関連

熊本県中学校教育研究会社会科部会では、研究主題に「民主主義の担い手に必要な資質・能力を育む社会科の探求」を掲げ、社会的な見方・考え方を働かせる「問い」に注目して研究を進めている。

研究主題に基づき、本研究では新型コロナウイルス感染拡大が経済にどのような影響を与えたのか、身近で具体的な事例を取り上げて学習を展開し、需要量と供給量、価格の変化について追究していく授業づくりを行うことにした。また、学習指導要領には、「…経済に関する様々な事象や課題を捉え、考察、構想する際の概念的な枠組みとして対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目したりして、経済に関する様々な事象などを理解できるようにしたり、…」と示されている。

そこで、まず、単元を貫く課題を設定し、現実の経済に対する関心を高め、社会的事象を捉えるための基礎となる知識を身につけることとした。そこで、価格の決まり方について、生産者や消費者などの様々な立場で、「効率と公正」の視点で考えさせることで、多面的・多角的に社会的事象を捉え、現代社会の見方・考え方を働かせる「問い」を引き出すことができると考えた。社会との関わりを意識した学習課題を追究したり解決したりする活動を通して、「民主主義の担い手に必要な資質・能力を育む」ことを目指した。

### 3 研究の仮説

コロナ禍における価格の決まり方を題材とし、「効率と公正」の視点で社会的事象を考えさせることで、生徒の「問い」を引き出し、それを追究していけば、経済活動に主体的に関わろうとする生徒を育てることができるであろう。

生徒たちが、民主主義の担い手となるためには、主権者として、よりよい社会の構築に向けて、同じ社会に生きる多様な立場の人々にも目を向け、主体的に関わろうとする姿勢や態度が必要である。社会との関わりを意識した課題を、生産者や消費者などの様々な立場で、「効率と公正」の視点から考え、課題を追究する学習活動は、生徒の経済活動に主体的に関わろうとする姿勢や態度を育てることにつながると考えた。

## 4 研究の視点

### (1) 「新型コロナウイルス感染拡大の影響」の教材化

本単元を通して、新型コロナウイルス感染拡大と深く関係のある社会的事象を取り上げ、身近な暮らしと結びついていることに関心をもたせることにした。本時の授業では、新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも、価格が変化しなかった牛乳を取り上げ、価格の決まり方について生徒に「問い」をもたせ、市場メカニズムがはたらく場合とはたらかない場合があることを教材化することにした。

### (2) 経済単元における「効率と公正」

企業の経済活動は、効率的に利益を上げることと同時に社会的役割や責任を果たすことを目的としている。本研究では、それら企業の経済活動を「効率と公正」という視点で考察する学習活動を取り入れることにした。新型コロナウイルス感染拡大の影響下で、安定した生産量を確保したり、価格を一定に維持したりするなどの経済活動を行った企業も存在する。本単元では、具体的な事例をもとに、需要量と供給量、価格の変化についての追究活動を展開する。生産者や消費者などの様々な立場に加え、「効率と公正」という現代社会の見方・考え方を働かせて価格の決まり方を考察させることで、生徒の中に新たな「問い」が生まれると考えた。

### (3) 「GT (ゲストティーチャー)」の活用

本単元の授業を計画する上で、GTを活用することにした。学校給食の牛乳を提供している企業“らくのうマザーズ”と阿蘇の酪農家“高尾牧場”を訪ねて、牛乳の価格の決まり方について取材を行った。本時の授業では、高尾牧場の高尾氏が、牛乳の価格が一定の理由を説明するインタビュー動画を、複数のチャプターに区切って編集し、意図的に生徒に視聴させることにした。

## 5 研究の実際

### (1) 「新型コロナウイルス感染拡大の影響」の教材化

単元の導入(第1時)では、経済を動かす3つの主体(家計・企業・政府)をとらえながら、自分たちの暮らしと経済活動とのつながりに関心を持たせた。単元を貫く課題を「自分たちの暮らしと経済活動のつながりに、新型コロナウイルス感染拡大はどのような影響を与えたか。」と設定し、毎時の授業において、新型コロナウイルス感染拡大と関係のある社会的事象を取り上げた。第2時「家計の果たす役割」では、クレジットカードや電子マネーなどのキャッシュレス決済の普及、第3時「消費者の権利と責任」では、特別給付金を装った詐欺や悪質商法、第4時「流通のはたらき」では、オンライン・ショッピングの増加、第5時「市場のはたらき」では、マスクやアルコール消毒液の価格高騰などを取り上げた。また、毎時の授業で学習した知識が有機的関連を持ち、生徒の疑問や予想、納得が生まれるように配慮して、第7時(本時)に向けて単元の学習を進めた。

本時の目標を「価格の決まり方について、市場メカニズムがはたらく場合とはたらかない場合があることを理解し、表現している。」として授業を行った。

本時の導入では、写真資料から、2020年4月頃にマスクが品不足になり価格が上がったことを想起させ、新型コロナウイルス感染拡大の影響について振り返った。本時のめあてを「新型

コロナウイルス感染拡大は、価格の変化にどのような影響を与えたのか考えよう。」と設定し、価格の変化に着目させた。クイズ形式の発問によって、価格が上がった商品は需要量が伸びたり供給量が減ったりしたこと、価格が下がった商品は需要量が下がったことを整理し、市場メカニズムがはたらいたことを確認した(図1)。本時の導入部は、習得した知識を様々な事例に適用し、その有効性を実感させる場面とした。

○価格が上がったものは、  
 需要量が増えた ➡  
 供給量が減った ➡

市場メカニズムがはたらいた

○価格が下がったものは、  
 需要量が減った ➡

図1

(2) 経済単位における「効率と公正」

本時の授業に向けて、第3時「消費者の権利と責任」では、契約を結ぶ意味を「契約は、売り手と買い手の考えや利害が一致し、売り手と買い手が交わす約束」と理解させた。第5時「市場のはたらき」では、需要量と供給量の関係によって市場メカニズムがはたらくことを理解させた。第6時「市場の長所と短所」では、市場メカニズムが効率的にはたらくためには健全な競争を保障すること、公平な供給が求められるものは公共料金として定められていることを理解させた。

本時の展開前半では、学校給食停止の写真から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校が臨時休校になり、学校給食が停止したため牛乳の需要が低下し、価格は下がったのではないかと生徒が予想したところで、図2「牛乳の販売金額の推移」の資料を提示した。牛乳の需要量が低下しているのに牛乳の価格が変化なし(価格が一定)という事実や、導入で確認した“市場メカニズムがはたらいた”にあてはまらない価格の決まり方があることに生徒は疑問をもった。そこで本時の中心発問を「なぜ、牛乳の価格は、変わらなかったのだろうか。」とし、牛乳の価格が一定の理由を考えさせた(図3)。

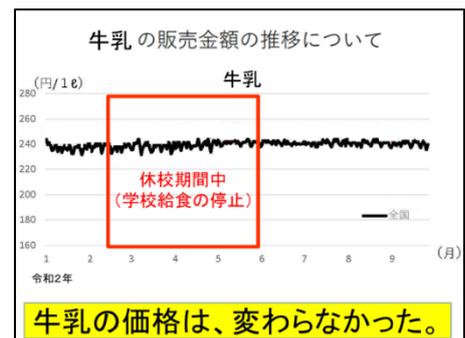


図2 「牛乳の販売金額の推移」

- ① 需要量と供給量の面
  - ・自粛期間中に、お菓子作りなどをする人が増えたため、価格が変わらなかったから。
  - ・好きだから。一般用の牛乳を買う人が増えたから。
- ② 生産者(酪農家)の立場で
  - ・乳をしぼる量を減らしたから。つまり、供給量を調整した。
  - ・牛乳の量を調整することができなかったから。牛は生き物だから調整ができない。
- ③ 販売者(メーカー)の立場で
  - ・コロナウイルスの感染拡大をみこして、メーカー側がつくる量を減らしたから。
  - ・他の乳製品(バターなど)に加工する量を増やしたから。
  - ・価格を下げると販売側が儲からないから。
- ④ 国(政府)の立場で
  - ・国の牛乳をつくる人に対して補助金が出たから。
- ⑤ その他
  - ・ネットで買ったから。つまり、オンライン・ショッピングの利用。
  - ・テレビやSNSなどで、学校給食の停止で牛乳が余っているから、みんな買ってくださいと宣伝していたから。
  - ・無料で配ったから。

図3 生徒が予想した牛乳の価格が一定の理由

ここでは、多面的・多角的に考え、班やクラス全体で意見を交流させる中で自分の考えを自分の言葉で表現する授業を展開した。短冊の工夫を用いて生徒の多様な意見をすべて拾い上げ視覚化し、教師が生徒と対話する中で、生徒の既有知識や経験を引き出し、教師がきちんと事実を紹介しながら補足することで、生徒が予想した理由を全体で共有した。本時の展開前半は、習得した知識では説明できない事例を示し、その限界を実感させる場面とした。

### (3) 「G T (ゲストティーチャー)」の活用

本時の展開後半では、自分たちが予想した理由が事実かどうか、分からないことや疑問に思ったことを知りたいという追究意欲が高まったところで、G Tへのインタビュー動画を視聴した(図4)。



図4 動画視聴の様子

G T (高尾牧場の高尾氏)へのインタビュー動画は、生徒の反応や「問い」を事前に予想し、4つのチャプターで構成した。チャプター1は、「生徒の予想に対する回答」となっており、事前授業(11月12日西原中学校3年2組にて実施)を行ったクラスの生徒たちが予想した理由を事前にG Tに質問し、答えて頂いたものである。動画の中で、自分たちが予想した理由が正しかったことを知ると、生徒たちからは歓声があがった。チャプター2では、「牛乳の価格が変わらなかった理由の説明」があり、酪農家と企業との『契約』の存在を生徒たちは初めて知った。チャプター3では、「契約をする理由」の説明があり、消費者のために安定して生産する必要があること、チャプター4では、「もし契約がなかったら」の説明があり、競争に負けて廃業することがないように、契約によって酪農家が保護されていることを学んだ。G Tへのインタビュー動画を通して、企業(酪農家・指定団体・乳業メーカー)の社会的役割と責任について気づかせることができた(図5・図6)。また、『契約』という難しい用語が出てきたが、生徒たちは集中して視聴し、説明を理解しようと努めている姿が見られた。

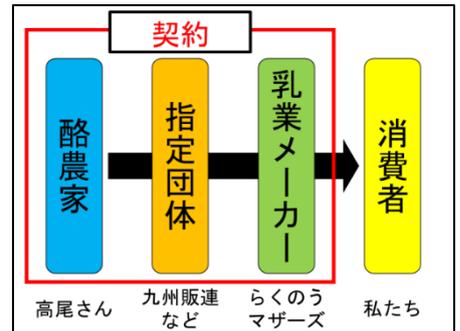


図5 「契約のしくみ」

G T (阿蘇の酪農家) へのインタビュー動画	予想される生徒の「問い」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャプター1 「生徒の予想に対する回答」 →乳製品に加工した、家庭での需要が伸びた、破棄はしていない</li> <li>・チャプター2 「牛乳の価格が変わらなかった理由の説明」 →酪農家と企業との『契約』</li> <li>・チャプター3 「契約をする理由」 →安定して生産をするため</li> <li>・チャプター4 「もし契約がなかったら」 →競争に負けて廃業する →『契約』によって酪農家が保護されている</li> </ul>	<p>Q. なぜ、牛乳の価格は一定なのか。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Q. 牛乳の契約とは何か。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Q. なぜ、契約をするのか。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>Q. なぜ、牛乳だけ価格が一定なのか。</p>

図6 チャプターと生徒の「問い」の流れ



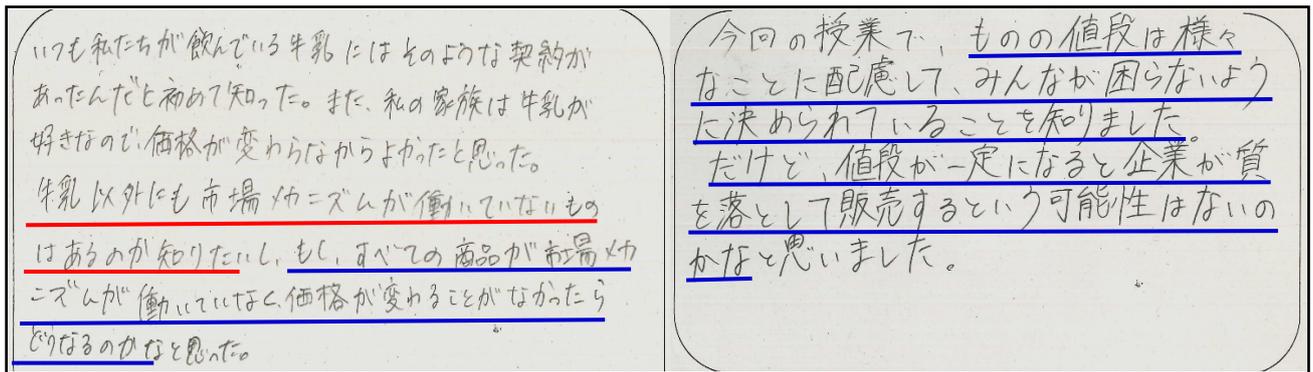


図7 本時の授業後の生徒の振り返り（緑線：立場、赤線：「問い」、青線：「効率と公正」）

これらの生徒の記述から、経済活動に主体的に関わろうとする姿勢や態度の育成につながっていると捉えられる。

### (3) 「GT（ゲストティーチャー）」の活用について

GTのインタビュー動画を複数のチャプターに区切って視聴することで、生徒の予想の検証及び、新たな生徒の「問い」を引き出すために使うことができた。喫緊の社会的事象を課題に設定し、地域素材である阿蘇の酪農について取材したこと、GTのインタビュー動画を複数のチャプターに区切って編集し、意図的に活用することは、汎用性のある教材の提案につながった。

### (4) 今後の課題

生徒から出された、牛乳の価格が一定の理由が、「家計」「企業」「政府」のどの立場からみた理由なのかについて考えさせると、より、理解が深まるのではないかと。

また、「牛乳には市場メカニズムがはたっていない」という表現よりも、より正確に「牛乳には市場メカニズムをはたらかないようにした」という表現の方が、この単元に相応しい学びになったのではないかとと思われる。

さらに、牛乳の「契約」のしくみについて、「なぜ『契約』をするのか」「もし、『指定団体』がなかったらどうなっていたらだろうか。」を中心発問として考えさせると、更に詳しく追究していく活動ができると思われるが、規定の単元計画内で授業化することは困難である。この点に関しては、改善していく余地がある。

## 7 おわりに

今回、熊本県中学校社会科教育研究大会において授業を行うにあたって、県社研公民部会の先生方や、阿蘇郡市社会科部会、高尾牧場の高尾氏、らくのうマザーズの職員の皆様、助言者の熊本大学教育学部藤瀬泰司教授に、多くの示唆を頂いた。新型コロナウイルス感染拡大の影響の中、たくさんの方々の協力があってこそ、本研究の授業実践を行うことができた痛感している。これからは、日々の授業実践に努め、社会科の授業づくりについて研鑽をさらに深めていきたい。